

INSPIRE No.26

第4回：ギフティッド教育：メタ認知教育

日時：2月26日（日） 13:00 - 16:00

場所：スクエア荏原in品川

申し込みサイト

<http://gifted4.peatix.com>

ギフティッドサポートグループミーティング

日時：2月26日(日)

時間：9:00 - 12:00

場所：スクエア荏原in品川

東京都品川区荏原4-5-28

費用：1000円

ギフティッド教育ワークショップ

日時：3月25日(土)

時間：13:30 - 17:30

費用：3,500円

人数：定員15名(申込先着順で定員になり次第締め切りとなります)

場所：シーズンフリールーム 8F

住所：大阪市北区兎我野町3-22 ハイキャッスル梅田301

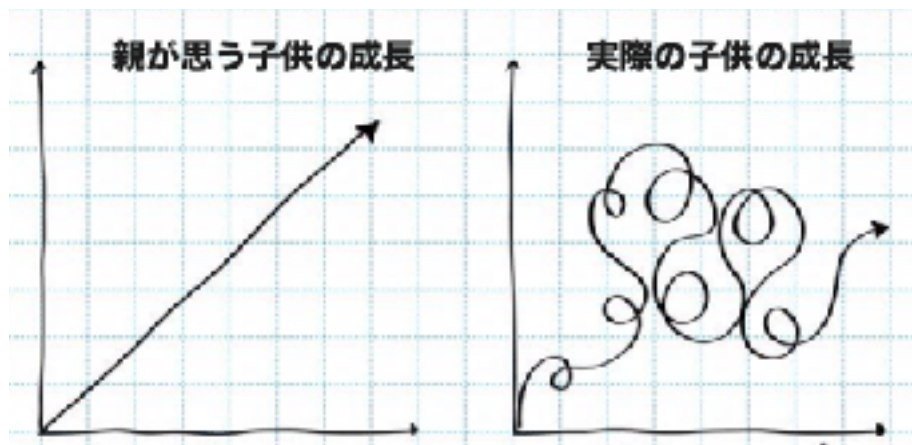
第5回：ギフティッド教育：キャラクター教育

ギフティッドの個別計画指導書の作成法

日時：3月26日（日） 13:00 - 16:00

場所：スクエア荏原in品川

東京都品川区荏原4-5-28



長いお付き合いで、子供と関われるという事は教育者にとってはこれほど幸せな事はないでしょう。先日、「先生のサマーキャンプ手伝いたい」と教え子からメールが来ました。中学校3年間受け持った時、何度、叱ったか数えられません。例えば、私に許可をとらずに、炊飯器で米を炊き、授業中、食べていたり。私の父の差し入れのたい焼きにペンで色塗りをして、カミナリを落とされたり。そんな生徒も「費用はバイトして、自分のお金で日本に行くから」と話しています。

私の好きな言葉に「Work in progress - 成長過程中」というのがあります。子供たちは、期待通りには成長しません。時に驚くようなルート、タイムラインで成長していきます。大切なのは、子供たち自身が「Work in progress - 成長過程中」と言える事です。

夏に教え子と会った時、これまでどんな旅をしてきたか聞きたいと思います。より大きな冒険に出られるように関わっているので、色々なお土産話を聞くことができることでしょう。

みなさんの子供や生徒は成長過程中ですか。



方程式

みなさんは、わが子がギフティッドかも？と思ったとき、まず最初に何をしようと思いましたか？私はギフティッドと題に書いてある書籍を、片っ端から読み漁り研究しようと思いました。

しかし、数年前も今も、ギフティッドと名前のつく書籍は、日本にはわずかししか見当たりません。そのために、もしかしてニュアンスが似てるかも？と思い、恐れ多くも「天才」と名のつく書籍を読み漁りました。

そこで気がついた事です、ギフティッド=天才ではないことです。ギフティッドは、確かに天才といわれる偉人たちに幼少時代がソックリです。

しかし、天才のような偉業を成し遂げるためには、

ギフティッド（孤独+長い時間）+ アドボケイター = 天才

という方程式が成り立つのでは？という世紀の大発見しました（←大袈裟）！

息子の場合、不登校こそ免れましたが学校には意味と意義を見出せず、退屈でくだらなくて、けして居心地の良い場所ではありませんでした。なので、学校生活は休み時間やお昼休みを、いつも図書館でひとり過ごしていました。息子の独特ワールドが確立していたせいか、いじめられることはなく仲良しの友達も少しはいましたが、彼らの大勢いる友達の中のひとりという立ち位置で、いつもつるんで行動をするということはありませんでした。クラスメートから見たら、「いつもひとりでボーッとしている暗いヘンな子」と映っていたことでしょう。

しかし、このひとりで長い長い時間をかけてボーッとする事が、天才に昇華するためのキーポイントなのです。この時間が、世紀の大発明や大発見や大革命に繋がる、人類の偉大なる進歩への可能性を秘めているのです。

彼らは、ただボーッとしているわけではありません。ボーッとしているように見えても、いつもフル稼働しているギフティッド脳を休めていたり、哲学したり、創造したり、空想したりしているのではないのでしょうか？

また、パワフルタイプなギフティッドの場合、ボーッでなくともひとりで行動する時間がとても大切なのだと思います。

※ 注意 孤独をひとりではなく、大勢の中の孤独感と捉えても大丈夫です。

例 親と早くに死別・親が離婚・親が別居・養子・寮生活・アレルギーや

場面緘黙等、身体または心理的マイナスがある・集団生活上の浮き感、あらゆる孤独感が、これらも天才偉人へ繋がる大事な要素です。

さらに、長い時間=休暇 として捉えることもできます。この休暇はその子によっては、友達と群れないひとり時間や、家でのひとり時間、不登校期間、行き渋り欠席や遅刻早退期間、中退してブラブラの冬眠期間、仕事が無い期間、研究成果の出ない期間、役者や芸人などアーティストが売れない期間などなど、天才たちも形は違いますが、この休暇をほぼ全員が体験済みなのです。

だからみなさん、我が子に対して、社会性がないとか引きこもりとかというネガティブ変換でなく、天才に昇華するための、例えるならばワインやチーズが美味しくなるような熟成や発酵期間と、ポジティブ変換してワクワクしませんか？大人になったらラクになって、才能開花して大変身を遂げて、ハッピーな将来がきっときっと待っているに間違いありませんからね！

ギフティッドのラベル貼りについて

よく、賛成か反対かを聞かれるが、私はどちらでも良いと思っている。そもそも、ギフティッドの学校に行ったり、プログラムに参加しているのであれば、多かれ少なかれそういったラベルは自然に貼られてしまう。私が茨城県に住んでいて、住民票が茨城にあるから、茨城県民人だというくらいのものだ。ラベルがどちらでも良いと思うのは、本当に議論しなくてはならないのは、その子が必要な教育を受けているか否かという事だからだ。ここでの教育は学習面だけではなく、もちろん、感情面、社交面、身体面も含まれる。よりこだわると、Educationを受けているか否か。Educationは「教育」と日本語訳される事が多いが、Educationは、ラテン語のeducereであり、「引き出す」という意味がある。「教育」が行われている学校という場所は、子供自身が自分の魅力を引き出す一つの場所にしかすぎない。どんなコミュニティーで、どんなカリキュラムを持って、ギフティッドの子供たちが自分の魅力を引き出していくかに答えられるのがギフティッド教育だ。「ギフティッド」という言葉は教育用語で、医療用語でない。ギフティッドという言葉が対象になるのは高校生までだし、アメリカにはギフティッド校などもあるが、多くは中学校までだ。大切なのは、ラベルをつけるのであれば、責任を持って、ラベルを剥がす機会を子供に提供し、一緒に活動しなくてはならないということ。ラベルを貼るという事は、コミットメントである。ギフティッドというラベルが嫌であれば、一つだけ、最適なものがある。それは、一生懸命、愛を持って、考えられた、子供の名前だ。自分の魅力を探求させて、もっと自分の事を知る事ができれば良い。だから、大人になっても自分のことをギフティッドと呼ぶのであれば、それは不幸だ。それより、自分の事や、魅力を語ってもらいたい。

**こだわるのは、子供がギフティッドか否かではなく、
どうやって、特別なカリキュラムを持って、挑まなくてはならないか。**

だから、「生きる力」や「人間力」という言葉はギフティッドにとってはナンセンスだ。生きる力よりも、生きる意味や意義を一緒に考えた方がいい。そういった事を一緒に考えてくれる友達がいなくてもいいかもしれない。もちろん、すぐには答えは出ないだろう。でも、「生きる力」より、「生きる意味や意義」を議論する方が、ギフティッドの子供たちは輝く。「生きる意味や意義」だけでなく、死についても話したい子がいる。そして、人間力ではなく、人の尊さや人の違いを楽しめるように生きることが大切だ。尚、そういったことを話せる仲間たちと関われば良い。私は長年ギフティッドの生徒たちに携わって

いるが、私は出会うまでの功績や偉業にはあまり興味がない。興味があるのは、「**まだ見ぬ素晴らしい自分の魅力**」だ。その魅力は、本人も知らない、親も知らない、私も知らない。世界も知らない。そして、その「**魅力的な自分をどう表現するか**」だ。もちろん、世界に！



ギフトッドの子供でホームスクールを考えているご家庭に朗報です。

あなたの理想の家はどんな家ですか？自分の家をデザインする時、きっとプロの建築士に相談し、その人はあなたの要望を取り入れ、あなたのこだわりを高度なレベルで実現してくれるでしょう。それはいわゆる匠の技です。まったく考えてなかった空間の使い方や、素材などを提案してくれるかもしれません。結果、自分の理想としていた家より素晴らしい家になるのではないのでしょうか。それでは、ホームスクールはどうでしょうか。皆さんが理想とするホームスクールはどういった形でしょうか。そして、カリキュラムはどうでしょうか。



FPホームスクールで、世界で一つのカリキュラムを作りますか。日本中のホームスクールの家族が繋がります。あなたの唯一のカリキュラムはどんなものなのでしょうか。あなたのホームスクールのデザインをお手伝いします。ホームスクールのやり方は星の数です。可能性は無限大です。それぞれ家庭や子供に合うやり方でホームスクールをしませんか。それをステップbyステップで学ぶ事ができます。これからは積極的にホームスクールを選択する時代に突入します。1人のホームスクーラーを作ることによって一つの家族が幸せになります。そして、その幸せは世界と共有されるでしょう。

「願う」、「探す」から、「作って楽しむ」へ

文科省によると、平成27年度の小学生、中学生の不登校生の数は123,000人です。色々な理由で子供たちが学校に行っていません。そして、学校に行かないと、不登校児というラベルが貼られてしまいます。これはフェアじゃありません。子供が自尊心や自信を育んでいる時期に、こういったラベルは必要ありません。そして、不登校が不幸ってわけでもないのです。学校に行かなくても毎日を充実させている子供たちもいます。アメリカでは、親が学校を教育の場所と選択しない場合、ホームスクールという教育の形を選択します。不登校児ではなく、ホームスクーラーです。一方、日本では、子供が学校に行かないと決めた場合、大抵は二つの選択をするよりなく、子供への義務教育が十分に提供されないのではないのでしょうか。それは、現在の日本の教育環境上、致し方ないことかもしれません。

一つ目は「願う」という選択です。毎朝、「今日は学校に行く」または、「今日は学校に行かない」という子供の言葉に、「学校に行ってもらいたい」と願います。きっと、ほとんどの子は親を喜ばそうと必死に頑張るでしょう。でも、子供は辛い思いが増す場合が多いのではないのでしょうか。子供によっては、学校という学びの環境が著しく不一致である場合もあり、毎日が虚無感や無力感に苛まれるかもしれません。それか、いじめにあっている場合は、日々を心身ともに安全じゃない場所で過ごすさなくてはなりません。

二つ目は「探す」という選択です。学校以外で、子供の受け入れ先、また、子供の居場所を「探す」という選択です。人との出会いは縁ですので、良いコミュニティに出会う場合もあれば、出会えない場合もあります。その場所に通うかどうかの決定は子供に委ねる場合が多いので、子供たちは少しでも嫌な事があると、辞めてしまう傾向があります。フリースクールによっては「子供たちの主体性に任せています。ゲームをしても良いし、勉強しても良いし。子供たちのやる気に任せています。」など、あまりにも子供の「やる気」を尊重しすぎて、子供が「できる事」と「楽しそうな事」だけを選んでいないのでしょうか。大切な教育の選択も子供に選択させてはいないのでしょうか。結果、探すという状態が長い間続いているケースがあります。

「願う」または「探す」という事、これは自然です。子供が心身ともに元気でない場合、お父さんやお母さんは大変心配でしょう。そして、ホームスクールが教育として認められていない日本においてはこの2つは自然な選択です。しかし、どのくらい「願う」または「探す」という事に時間を費やすか。または、ホームスクールを積極的に選択し、「作って楽しむ」というのも選択です。願っていたり、探している状態が続いている時、子供は必要な教育を受けられていますか。それとも教育はストップしていますか。教育は勉強面だけではありません。子供の内面の自尊心や自信を育む機会もストップしているかもしれません。

これからは「作って楽しむ」という選択があります。積極的にホームスクールをするという選択肢を考えてみてください。子供たちに合ったカリキュラムで、子供たちをチャレンジする事ができます。知識やスキルばかりを同じ年齢のクラスメートと学ぶより、知識、スキルだけでなく、人生の価値観なども魅せてくれるメンターとの学び方が合う子供もいます。ランドセルより、リュックが似合う子だっています。自尊心や自信を育みながら、自分の魅力を探求するでしょう。きっと明日が楽しみになるでしょう。活動量が増えていくと、活動領域も増えていきます。結果、自然に、子供はメンターや応援者に囲まれているでしょう。

FPのスタッフたちは、アメリカで、いわゆる天賦の才能を持った子供たちを教えていました。ギフトッドの子供たちは魅力が満載の子供たちです。生徒一人一人が新しい自分の魅力を探求して、輝いていま

した。その学校で一緒に教えていたドリームチームと呼んでいた先生方も、魅力的で、クリエイティブでした。いわゆる「匠」たちです。安心できるコミュニティの中で、誰もが一人の人間として尊重され、自分の潜在能力を最大限に引き出していました。黄金期のドリームチームが作り上げた教育哲学のメソッドがFPホームスクールの「DIYで作るカリキュラム」の基盤となります。

「DIYで作るカリキュラム」なら、世界で一つのカリキュラム。「DIYで作るカリキュラム」なら、あなたのカリキュラムは枠に当てはまらないアイデアで満載。子供に世界で一つの最高なカリキュラムを作りませんか。あなたがどこに住んでいても、FPホームスクーラーになれます。

私たちはカリキュラム作成のお手伝いをするだけでなく、あなたのホームスクールをサポートします。

FPホームスクールは3学期制です。

春学期 4月 5月 6月 秋学期 9月 10月 11月 冬学期 1月 2月 3月

春学期の説明会

2月25日（土）9:00 - 12:00

場所：スクエア荏原 中会議室

東京都品川区荏原4-5-28（武蔵小山駅徒歩10分）

お申し込み・お問い合わせ: office@fpjapan.org

